

みんなの けんこう ガイド

★本市保健センター
☎2003

※お問い合わせは、
午前8時30分から
です。

特定健診・健康診査 の申込について

今年度は、混雑を減らすよう電話回線数を倍にし、また、申込開始日も増やし受付を行います。
詳細は、広報ほんじょう6月1日号でお知らせします。

がん検診を受けましょう

はにぼんチャレンジ対象事業

日本人の死因第1位はがんです。1981年に死因のトップになって以来、いまなおその数は増え続けています。

国の調査では、がんを「こわいと思う」とする人の割合が7割を超えているものの、がん検診の受診率は、半数を下回っています。その理由には「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」「健康状態に自信があり必要性を感じないから」などあります。

がんは、診断技術や医療の進歩により、早期発見し、治療することが可能になってきています。そして、早期発見するためには、症状が出たら検査を受けるのではなく、自覚症状がないうちに、定期的に検査をすることが重要です。

自分のために、大切な人のために、定期的ながん検診を受けましょう。

参考：厚生労働省2009年人口動態統計 平成19年国民生活基礎調査

検診の種類	対象	検診料
胃がんリスク (ABC)	個別 40歳以上（昭和52年4月1日以前に生まれた人）で前年度、この検診の未受診者	350円
PSA (前立線)	個別 40歳以上の男性（昭和52年4月1日以前に生まれた人）	250円
大腸がん	個別 40歳以上（昭和52年4月1日以前に生まれた人）	350円
乳がん	個別 40歳以上の女性（昭和52年4月1日以前に生まれた人）	1,600円
	集団 30歳以上の女性（昭和62年4月1日以前に生まれた人）	1,100円
子宮頸がん	個別 20歳以上の女性（平成9年4月1日以前に生まれた人）	1,300円
	集団	650円
肺がん・結核	集団 40歳以上（昭和52年4月1日以前に生まれた人）	レントゲン250円
		レントゲン250円 かくたん略痰（必要な人）450円
結核	集団 65歳以上（昭和27年4月1日以前に生まれた人）	無料

医療メモ 本市児玉郡医師会広報部 傷の処置ガイド

傷の種類

切り傷、すり傷、あなたはどんな処置をしていますか？
医療は日々進歩しています。10年、20年前に正しいとされていた事が、見事にくつがえる事は多々あります。傷の処置についても、昔は正しいとされてきたことが大きく変貌しています。

日常生活の中で知っておくとよい、傷の対処方法をご紹介します。

傷といっても、
・鋭利な刃物で切開した傷：
(A)
・ピーラー等でそいで表皮が欠損してしまった傷：
(B)
・転倒した際、すりむいた傷：
(C)

などがあり、対処方法はすべて同じというわけにはいきません。

適切な処置

(A) 傷口がぱっくり開いてしまうような状態なら、縫合

等の外科的処置が必要となることが多いため、6時間以内に医療機関を受診することをお勧めします。6時間以内という理由は、傷の内部で細菌が増殖する前に処置を行うことが大切だからです。

(B) や (C) については次の原則を守り処置を行います。

原則①出血している場合は、出血部位の圧迫を行う
指の切り傷による出血に、輪ゴムなどで指の基部をしばって止血をすることはお勧めしません。しぼる強さが不十分な場合、うっ血により、かえって出血量が増えることと、しばらくしている時間が長くなると、血流不足のため傷以外の場所が壊死してしまう恐れがあるからです。

原則②傷の消毒はなるべく行わない
傷は、皮膚の表面にできた隙間を、新しい細胞が埋めることで治ります。消毒薬は、新しい細胞を壊してしまうため、有害と言われています。

手術や縫合処置を行う場合、あらかじめ消毒をすることで、創内(傷)に細菌を持ち込ま

ないようにはしますが、それ以外の創(傷)には消毒薬を用いず、シャワーなどの流水での洗浄が推奨されています。

原則③傷はなるべく乾燥させない
カラカラに乾燥した状態では新しい細胞は形成されません。切った面の鮮度を保つには、野菜や果物と同じで、ラップ等のフィルム状のもので密閉し、適度な湿潤環境を保つことが必要です。

「ハイドロコロイド」という物質で覆うとさらに良好と言われています。「ハイドロコロイド」のフィルムは薬店で市販されています。

以上のことをふまえ、傷が治るまでに細菌感染の有無をチェックすることが大切です。

創(傷)周囲の熱感、発赤や腫脹が出現した場合は、感染の判断も含め、医療機関に相談しましょう。



休日急患の診療

●本市児玉郡医師会立本市休日急患診療所 (日曜・休日開設)
(本市保健センター内 ☎33322)

診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時

診療科目 内科系疾患

※健康保険証を持参してください。

●在宅当番医療機関

診療は午前中のみです。当番医は変更になる場合もありますので、確認してからお出かけください。

5月8日(日)	はにぼんクリニック	東台4丁目	☎23596
5月15日(日)	千田医院	美里町根木	☎760041
5月22日(日)	高橋整形外科	千代田1丁目	☎26211
5月29日(日)	昭和産婦人科	駅南1丁目	☎22025
6月5日(日)	高山整形外科	見福2丁目	☎23245
6月12日(日)	田所医院	けや木1丁目	☎23445

●小児夜間初期救急診療 (本庄総合病院内 ☎6111)

診療日 毎週火曜日(休日は除く) 午後6時～9時

対象 中学生まで

●電話相談をご利用ください

(相談料無料・通話料利用者負担)

・[#8000]小児救急電話相談

(IP電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは、☎048-833-7911)

受付時間 月曜日～土曜日 午後7時～翌日午前7時

日曜日、休日、年末年始 午前7時～翌日午前7時

・[#7000]大人救急電話相談

(IP電話、PHS、ダイヤル回線からは、☎048-824-4199)

受付時間 毎日 午後6時30分～10時30分

★119番は、緊急時(火災やけが人など)の受付専用電話番号です。夜間など、時間外に診療可能な病院については、児玉郡市広域消防本部指令課(☎241119)でご案内していますので、ご利用ください。ただし、診療科目によっては、県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

各がん検診共通

次に該当する人は無料になります。

①平成28年度中に70歳以上になる人(昭和22年4月1日以前に生まれた人)

②市民税非課税世帯の人

③65歳～69歳で後期高齢者医療制度に加入している人

④生活保護世帯の人

※②の人は検診を受ける前に本市保健センターで承認を受ける必要があります。事前に承認のない場合は有料になります。また、③の人は保険証を、④の人は受給者証を提示することで無料になります。

大腸がん検診

検診希望者に検査キットを郵送します(非課税世帯の人で無料での検診を希望する人は除く)。費用は、指定医療機関へ採便した検査キットを提出する際に支払います。

乳がん検診

視触診はなくなり、問診・マンモグラフィの検診になります。

結核検診
胸部レントゲン撮影を行います。

ますが、読影は結核についてのみ行います(肺がんの読影は行いません)。

受診券について
昨年度乳がん・子宮頸がん検診以外のがん検診を受けた人や、新規にがん検診の対象となる人に、今年度のがん検診受診券と検診案内を郵送しました。がん検診を希望する人で受診券が届いていない人は本市保健センターまでお問い合わせください。

子宮頸がん・乳がん検診
市内在住で次の該当者に無料クーポン券を郵送しました。

子宮頸がん検診 平成28年度中に21・26・31・36・41歳になる女性で過去に市の子宮頸がん検診を受診していない人。

乳がん検診 平成28年度中に41・46・51・56・61歳になる女性で過去に市の乳がん検診を受診していない人。

有効期限
平成29年3月31日(金)まで

※検診を受ける際には無料クーポン券と同封の文書を確認してから検診を受けてください。